【目的】住民の転入・転出先を把握し、移住施策を検討しよう。

宮城県登米市 2021年

都道府県別ランキング

転入超過	宮城県登米市										
	宮城県	青森県	岩手県	福島県	秋田県	山形県	新潟県	静岡県	長野県	宮崎県	その他
		1,255人	953人	862人	817人	690人	161人	125人	65人	42人	163人
転出超過	宮城県登米市	宮城県	岩手県								
		288人	6人								
	宮城県	東京都	埼玉県	千葉県	神奈川県	大阪府	愛知県	福岡県	茨城県	京都府	その他
		2,242人	821人	816人	809人	318人	228人	134人	91人	88人	314人

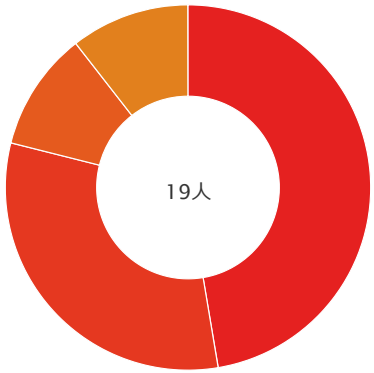
県内市区町村別ランキング

転入超過	宮城県登米市	仙台市宮城野区	涌谷町	気仙沼市							
		6人	2人	2人							
転出超過	宮城県登米市	石巻市	大崎市	栗原市	仙台市青葉区	仙台市太白区	仙台市泉区	仙台市若林区	名取市	塩竈市	その他
		53人	52人	50人	47人	43人	11人	9人	8人	8人	17人

【注記】
転入超過および転出超過は、住民基本台帳人口移動報告における転入数および転出数の公表集計表において、双方の集計表に自治体名が表示されている場合にのみ算出している。
ランキングで表示される「その他」とは、最も右に表示される自治体の数値以下であって、その自治体の数値の合計を表す。
※なおこの数値の合計には、同数の数値で複数自治体があり、ランキング上ですべて表示できない場合も含まれる。

転入超過数内訳

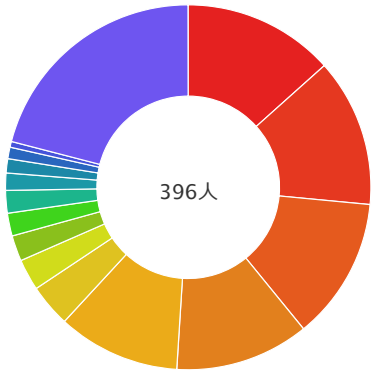
総数



- 1位 岩手県一関市 9人 (47.37%)
- 2位 宮城県仙台市宮城野区 6人 (31.58%)
- 3位 宮城県気仙沼市 2人 (10.53%)
- 3位 宮城県涌谷町 2人 (10.53%)

転出超過数内訳

総数



- 1位 宮城県石巻市 53人 (13.38%)
- 2位 宮城県大崎市 52人 (13.13%)
- 3位 宮城県栗原市 50人 (12.63%)
- 4位 宮城県仙台市青葉区 47人 (11.87%)
- 5位 宮城県仙台市太白区 43人 (10.86%)
- 6位 岩手県盛岡市 15人 (3.79%)
- 7位 宮城県仙台市泉区 11人 (2.78%)
- 8位 宮城県仙台市若林区 9人 (2.27%)
- 9位 宮城県塩竈市 8人 (2.02%)
- 9位 宮城県名取市 8人 (2.02%)

【出典】
総務省「住民基本台帳人口移動報告」

【注記】
熊本市については、2012年4月1日に政令指定都市となったため、2012年のデータにおける熊本市に属する区のデータについては、4月から12月までの9か月分となる。
相模原市については2010年4月1日に政令指定都市となったため、2010年のデータにおける相模原市に属する区のデータについては、4月から12月までの9か月分となる。
都道府県単位の移動総数は、市区町村単位の移動情報を足し上げて集計しているため、秘匿情報がある場合は、実際に把握できている移動数より少なくなることがある。
「住民基本台帳移動報告」における移動者数は，住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）の規定により
市町村に届出等のあった転入者の日本国内の移動に係る情報を集計したものである（国外からの転入者及び国外への転出者は含まれていない。）。
また、本画面は、性別・年齢階級別に移動前の住所地別転入者数・移動後の住所地別転出者数が整理された公表集計表を用いて作成しているため
2017年までは日本人のみ、2018年からは外国人を含む移動者数を表示している。

東京都国立市は2012年2月から住民基本台帳ネットワークシステムに接続したため、2011年以前については、転出数、純移動数ともに該当数値がない。2012年の転出数は2月から12月の値であり、転入数と集計期間が異なるため純移動数は該当数値がない。
福島県矢祭町は2015年3月30日から住民基本台帳ネットワークシステムに接続したため、2014年以前については、転出数、純移動数ともに該当数値がない。2015年の転出数は4月から12月の値であり、転入数と集計期間が異なるため純移動数は該当数値がない。

【参照メニュー】
人口マップ→人口の社会増減→From-to（定住人口）

示唆	県内では、仙台市宮城野区からの転入超過が最も多く、石巻市への転出超過が最も多い。 県外では、岩手県一関市からの転入超過が最も多く、岩手県盛岡市への転出超過が最も多い。 都道府県別では、宮城県への転出超過が最も多い。